

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 6月 29日

公表: 令和 6年 7月 11日

事業所名 チャイルドハート東海岡崎

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		学習室と運動場所と利用用途を分けてスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	4	2		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	5	階段がありますが手すりを設置しています。	今後も必要に応じてバリアフリー化を行っていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		職員会を行い、利用者様一人一人の支援方法について相談を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	HPにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	他事業所と連携し、内部監査を行っています。	現在外部評価は行っていませんが、同法人事業所間での内部監査を行い、業務改善に努めています。第三者による外部評価の必要性を感じています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		職員会で活動内容や方法について検討しています。また、取り組んでいく中で改善点があればその日の振り返り時に共有し、再度検討するようにしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	月ごとにテーマを決め、週ごとにルールの変更をして、同じ活動でも固定化しないようにしています。	ルールの変更が保護者様にも分かるようにHUGや毎日の記録を通して発信していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0		支援開始前に前日の支援の振り返りとその日の支援の打ち合わせを行い、職員間で情報共有を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3	勤務時間の違いなどにより支援終了後は難しいので、緊急時以外は支援前に前日の振り返りと当日の支援についての共有を行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5	1			

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1		これまでサービス担当者会議は児童発達支援管理責任者のみの参加でしたが、可能な限り他の職員が同席できるよう努めています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1		現在対象の児童はいませんが、受け入れる場合は連携をとれる体制を整えていきたいと考えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	年に数回実施されている研修に可能な限り参加しています。	今後も可能な限り参加していく予定です。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	2		児童発達支援管理責任者が連絡会等に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	保護者様同士で交流する機会が少ないので今後検討していきます。	事業所のイベントの際などに歓談スペースを設け、保護者様同士で交流できる場所を提供していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	HUGの活動記録などを通して情報発信を行っています。	しっかりと情報が行き届くよう、発信方法を都度検討していきます。
	35	個人情報に十分注意している	6	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		今後も職員全体で知識を深め、より円滑に意思疎通や情報伝達ができるよう努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	避難訓練などを行う際には、近隣のご家庭に連絡し、参加していただけるようお声掛けをしています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1		避難訓練時に職員間で共有し、保護者様にはHUGの活動記録にてお知らせをしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0		契約時にアレルギーについて確認し対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		